福岡天神のFMラジオ ×FUKUOKAZOZO

次世代を担う学生が成長企業を取材し、 自分が将来活躍するフィールドを探しにいくコーナーです。

学生スタッフ NPO法人学生ネットワ

株式会社ディーゼロ

代表取締役社長 矢野修作兵

「福岡から全国へ、常に最高のクリエイティブを。」をモット-岡のWeb専門の制作会社。Web制作専門のクリエイティブ集団として リーディングカンパニーを目指す。

「福岡で創業20年を迎えるディーゼロが、 成長し続けるワケー

Web デザイン会社として、「3つの部署と5つのユニット」 という独特の組織体制を構築し、営業セクションを持たずに 成長を続けてきた株式会社ディーゼロ。今回は、そんな ディーゼロの代表取締役社長 矢野 修作さんにお話を伺った。

デザイナーが理想とする会社を創業した

ディーゼロ創業の経緯を教えてください。

私が20歳くらいの時には、デザインといえば東京だという イメージがありました。そこで東京で働こうと考え、独学でデ ザインを勉強し、とあるデザイン会社に入社しました。デザイ ナーのことを何も知らずに、憧れで飛び込んだ世界は面白 かったのですが、一方で、その会社はデザイナーファーストで はないと感じました。

「デザイナーが働きやすい環境を作りたい。そうすればもっと 福岡という地に、面白いデザインという新しい風を吹かせるこ とができるのではないか」という思いがあり、お客様のためと いうより、デザイナーのために、デザイナーの理想に近い形で 働ける会社を作ろう、と思って創業したのがディーゼロです。

デザイナーにやさしい会社なのですね。そんなディーゼロの 組織体制は非常に特徴的だと伺いました。

ディーゼロには「3つの部署と5つのユニット」があります。

元々は社内に3つの部署しかありませんでしたが、会社が大き くなるにつれて「強かったD-ZERO | が失われてしまったと感じ ることがありました。大きな会社よりも、フットワークの軽い 会社や想いの強い組織、少数精鋭の会社の方が強くかっこい いと思っていますが、大きな組織としての強みも必ずあるの で、どうにかして双方を手に入れられないかと考えるようにな りました。

その時に「ユニット」という考え方を思いつきました。5つの ユニットは、それぞれビジョンやコンセプトを持った10名程度 の小さなプロダクションです。このユニットが縦軸として存在 し、それぞれのユニット長はいわば小さな会社の社長です。た だ、それだけだと大きな会社の強みである、情報共有や教育 が疎かになってしまうので、横軸として部署が存在しています。

部署は、売上ではなく能力や評価のマネジメントをしていま す。業務の進捗管理や売上管理は縦軸であるユニットで行い ますが、デザイナーとしてどこを目指すのか、何に向いている のかなどの話は、横軸である部署ごとに行っています。

営業の仕事 = 製品の良さを伝えていくこと

営業部が無い御社は、どのようにお客様を獲得しているので すか。

そもそも仕事を獲得することが本来の営業の仕事なので しょうか。私は物を売るのが営業ではなく、「製品の良さなど を伝えていくこと」が営業の仕事であると思います。我々は オーダーメイドで商品を提供していて、自社サービスを持って いるわけではありません。が、技術が高ければ口コミで広が るし、誰かがホームページを作れる会社を探している時に、 ディーゼロという会社を思い出してもらうことができます。

このブランディングこそが我々にとっての「営業」であると 思っています。会社の良さや商品の良さを知ってもらうための 活動が営業なので、社員全員が営業だとも思っています。営 業コストをかけずに制作ができれば制作コストが下がるので、 お客様に良いサービスが提供できますし、デザイナーに少し でも多くの給料を還元できます。すると、自然と良いデザイ ナーが集まり、多くのお客様が良いと思う製品が作れます。 そのような仕組みを作りたいと思い、あえて営業の部署を置 いていません。

そんなディーゼロの強みはどのようなところですか。

一つは、尖った得意分野を持つ社員がたくさんいることで す。通常の会社は似たようなことができる人が集まっているの で、相談しても領域外のことには答えられないことも多いです が、ディーゼロは深みも領域の広さもあるので、とりあえず ディーゼロに聞いてもらえば何かしらの答えが出ると思いま す。グラフィックが得意なデザイナーもいれば、UI (ユーザー インタフェース)を得意とするデザイナーもいますし、Webデ ザイン会社と言いながらコーディングができないデザイナーも いますね。

もう一つは、ディーゼロは外部に委託せずに内製している ので、大型コンテンツや、簡単には作れないものを制作する のが得意です。ツールを使った簡単なコンテンツは、どこの 会社も大差がないですが、大学や銀行などの大きな企業・組 織のコーポレートサイトなどになると、企業によっては外注に 外注を重ね、コミュニケーションロスが起こって上手くいかな いケースもあります。その点ディーゼロは、内製のおかげで 安心安全ですね。

Web制作を外注するコツ:自社の特性を 自社内に蓄積すること

サービスを提供する際に、心がけていることはありますか。

お客様である企業が、我々に"任せっきり"になることが無 いように気をつけています。 もちろん Web デザイン会社を信 じることは大事だとは思いますが、Web制作を自分ごとにして





いかなければいけません。自分ごとになっていない企業は、 業者を変えたらそこで成長が止まってしまいます。企業が成長 するにつれて、付き合う制作会社が変わっていくことは十分に あるので、きちんと<mark>自社の特性を自社内に蓄積していかなけ</mark> ればならないと思います。

我々Webデザイン会社は、持ち前のスキルでモノを作りま すが、制作業務で一番価値が高いのは、一緒に創り上げて いくプロセスだと思います。

会議の場は、思考の違いやアイデアなど、その企業の本質 的なものが見えてくるので、非常に価値があります。特に中 小企業などの社員が多くない会社こそ、打ち合わせの場に社 長が入ってほしいですね。業者に任せっきりではなく、制作 のプロセスも一緒に価値として見出すことができれば、素晴ら しい時間になると思います。また、我々が良いと思うもので も、お客様が気に入らなかったり、自慢できないものは作り たくありません。双方の思いを組み合わせたところに「かっこ いい」があると思います。お客様に合わせるわけでもなく自分 を貫くわけでもなく、一緒に作っていくようにしています。

最後に、ディーゼロが20年続いた秘訣を教えてください!

そんなに気張らず、何も決めつけなかったことですかね。 「それいいじゃん」、「まあいっか」という温度感が良かったと思 います。実はいまだに人生の目標はありません。景色が変わ れば道先も変わると思っています。景色を変えることには努 力をしましたが、道先を決めようとはしませんでした。それが 社員にとって居心地良く感じてもらえたのだと思っています。 そして、私は常に周りの人々を大切にしてきました。今の副社 長はサラリーマン時代の上司であり、私のデザイナーの師匠 ですが、彼がいないと会社を続けることはできなかったです し、私が現場を抜けて経営に力を入れることができたのも、 他の社員がデザインをしてくれるからです。誰かがいるから私 は生きていける。極論を言うと、明日社員全員に辞表を出さ れると僕は潰れてしまう。周りの支えがあってこその今の自分 だと思います。



■NPO法人学生ネットワークWAN とは? 設立17年目を迎える学生主体のNPO。「学生 だから~できない」「地方だから~できない」を変える べく全国19地域の情報発信支援や、地域の

関係人口をつくるコンテンツ企画 運営をしている。私たちの運営す るサイト「ガクログ」もぜひ CHECK!! してください!





■FMラジオ番組「FUKUOKA2020」とは?

福岡市中央区のコミュニティFM 放送局「コミュニティラジオ天神 (FM77.7MHz)」 毎週木曜日19:00~ON AIR! 地域の情報・次世代ビジネス・地方創生などの 最新情報について、大学生を中心とした若手メンバーとゲストで発信するラジオ番組。 ラジオというメディアの新しい可能性を、ソーシャルメディアやスマートフォンファ ビジネスを考えている世代が探っていきます。